



10月5日 東地申第25号

29

しんばし

「営業統括センターの設立(第2期)について」に関する申し入れ【新橋営業統括センター】を行う!

これまで、中野営業統括センターが設立されてきましたが

**現状の人材育成の課題を考えると、
今後は、より業務を熟知・精通した社員が
教育・育成を担うことが重要!**

営業統括センターでは、このようなエキスパートが育成できる環境でなければなりません。

一方、新橋営業統括センター設立に向けたワーキンググループ(WG)では、
設備 見習い 作業ダイヤ など、様々な内容で議論が進められていますが…

**WGに入れない一般社員には
情報がなく、不安が募っている!**



提案時の議論
TOKYO MAIL NEWS
NO.020

「WGで議論をしている内容は隠すものではないし、
全社員に伝えていく」のではなかったのか?

これでは**施策の目的である『社員のための施策』**

『社員の幸福の実現』は実現できない!



2021年度東地申第64号
TOKYO MAIL NEWS
2021 NO.339

<申し入れ内容>

1. 新橋営業統括センター設立の目的と今後の方向性を具体的に明らかにすること。
2. 新橋営業統括センターにおける必要な教育・訓練を実施すること。また、新橋駅と浜松町駅の特性を踏まえた要員配置を行うこと。
3. 各業務については効率性だけを追求せず、働きやすさや安全・サービスの向上に努めること。
4. 制服を着用し、駅相互間を移動する際の考え方を示すこと。また、ロッカーや休憩室、寝室など社員の健康と働きやすさを考慮した設備を整備すること。
5. 新橋営業統括センターにおける人材育成の考え方を示すこと。また、サービス勉強会など各種勉強会についての開催方法を明らかにすること。
6. 今後、開催するプロジェクトや各種委員会の設置・開催方法については、社員の意見を取り入れおこなうこと。
7. 社員の不安を取り除くために、新橋営業統括センター設立に向けたワーキンググループ等での議論内容を全社員に周知すること。

**設立が迫るも不透明なことが多すぎる! 社員が不安無く
業務や人材育成ができるよう、地本は団体交渉に臨みます!**